

<白金標準、下降ウェッジからの離脱で 4400 円へ・・・>



(出所：オアシス)

金価格の 900 円を超える上昇に比べ、景気商品の一面を持っている白金標準先物は、金同様に上昇を始めた 4065 円から先週の高値 4342 円まで 277 円と金価格の変動幅に比べ 30% に満たない値動きを見せている。特にイスラエルとイランの関係悪化は中東における石油の輸出ルートにおける地政学的なリスクの高まりが生まれ、原油価格の上昇に伴いエネルギーコストが上昇し景気減速の引き金になりかねない。そのため NY 白金は 900 ドルで戻りが抑えられ、白金標準先物においても 4300 円を超えると戻りが止まる値動きを見せている。しかしパウエル FRB 議長は 11 月の FOMC における金利据え置きを示唆し、米国 10 年債金利も 5% に近い水準で上昇が止まっている。週末エコノミストらは 2024 年早期までの米国経済成長見通しを引き上げ、リセッションの確率を 1 年ぶり低水準に引き下げるなど、景気に対する楽観的な見方が強まっている。また中東情勢もイスラエルの地上戦開始が米国や欧州の協議で人質解放を先行させる合意で遅れる状況を見せており、地政学的なリスクの高まりが一時後退する様であれば、巻き戻しの動きに 4342 円を上回ると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が上昇を示しながら、RCI でも **短期** が上昇し、**長期** も切り上げだすなど強気を維持した状態を示唆しており、基調は高値追いを維持していると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,210,000 円(2023 年 10 月 23 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2023 年 10 月 23 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>